

## ふじみ野市 1人1台端末の利活用に係る計画

### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及びクラウドを活用して児童生徒自身が学びを自己調整し、個別最適かつ協働的に学ぶことで、主体的・対話的で深い学びが実現した姿。

### 2. GIGA第1期の総括

1人1台端末の整備については、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し始めた2019年度から着手し、2021年度には整備率100%を実現した。ネットワークの整備については、2020年度に市内全小中学校で実施し、GIGAスクール構想の実現に向けた校内通信ネットワークを整備した。整備した1人1台端末及び通信ネットワークを活用した学びの実践については、個別最適な学び及び協働的な学びを実現するためのソフトウェアを導入し、それらを有効に活用するための研修を実施した。その結果、授業のまとめの場面や家庭学習の教材としてソフトウェアの活用が進み、個別最適な学びが実現されている。また、児童生徒が自分で調べる場面や自分の考えをまとめ、発表・表現する場面でもソフトウェアの活用が進み、協働的な学びにつながっている。さらに、希望する不登校児童生徒に対して、リアルタイムで授業を配信する等、1人1台端末を活用した学びの保障についても取組が進んでいる。

明らかになった課題としては、1つは端末が故障した時の対応がある。修理に出している間は予備機で対応するが、時期によっては修理から戻ってくるのに長い時間がかかり、予備機が不足することもあった。GIGA第2期では、十分な予備機を整備することで、この課題を解決していく。また、1人1台端末と通信ネットワークを活用した学びの実践に関する課題としては、学校間や教師間で差が生じていることがある。GIGA第2期では、児童生徒の学びの場面に応じた研修を充実させるとともに、市内でリーディング校を指定し優良事例を横展開していくことで意識と技術の向上を図る。

### 3. 1人1台端末の利活用方策

十分な予備機を含め、端末を適切に更新し、1人1台端末環境を引き続き維持することを前提とし、以下のように利活用していく。

#### (1) 「1人1台端末の積極的活用」

授業や家庭学習、学校・家庭間の連絡等、様々な場面での1人1台端末活用を進める。

#### (2) 「個別最適・協働的な学びの充実」

端末を利活用した学習課題への取組により、理解度や学習進度に合わせた個別最適な学びを進める。また、「調べる」「発表・表現する」「やりとりする」という授業場面に応じた端末の活用を進め、協働的な学びの充実を図る。

#### (3) 「学びの保障」

不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等に対して、その実態に応じて端末を活用した支援を実施する。